

指導箇所を細かく記載しています。

必ず内容を確認し、音源等を活用して復習した上で、次回の練習に参加してください。

○11月22日練習報告

前半

ふるさと、前曲レ・ミゼラブル「民衆の歌」練習

ふるさと

下パートの音の確認と上パートの声がかきつくならないように歌い方の指導をしました。

前曲レ・ミゼラブル「民衆の歌」

合いの手について

先週の松下先生の報告を受け、竹内先生にお聞きし、アイデアを持ち寄るという宿題もありましたので、まず一度聞かせていただきました。

1ページ目の見開き部分、7カ所合いの手を入れていただいていたいました。

今日は、その中で各々3か所言う場所を決めてみました。最後は全員言います。

言わないところはお隣の人と頷きあったり、周りの人に共感したり、と無にならないようにしていただきました。

だいぶ整理できたのかなとも思いましたが、来週松下先生にまた見て頂き、良い方向に導いていただきたいと思います。

「屍～」の後の下パート、最初の音をどの音を頼りに音を取るのかももう一度確認しておいてください。

歌詞の言葉がどの言葉も流れてしまわないように歌っていただきたいです。

特に「いのち」という言葉が流れてしまいがちでした。「い」をもう一度言い直すようにしてください。

最後の「Ah」はその前からのテンションを落とさないように出てください。

後半 第九

11月8日までの録音を聞かせていただき、

力の入り過ぎた高音が特に気になりましたので、ソプラノ、テノールの高音の出し方についての指導に時間を取りました。

フレーズの中で一番高い音を出すつもりでブレスを取ることを意識して歌う練習をしました。後2週間、楽譜を見ながらその練習を取り入れていただけたらと思います。

895 小節からのアルト、テノール、バスの音が怪しく聞こえたので、少し時間をかけて音を確認しました。

練習番号 S、T を行い、最初に戻り、M まで行いました。

これ以降は松下先生のご指導の下、暗譜も含め次週行います。

29 日(松下先生)が最後の練習となり、

30 日オーケストラ合わせ、12 月 6 日前日リハーサル、12 月 7 日本番、となります。

インフルエンザが流行っているようですので、手洗い、うがいをしっかり行っていただき、本番に備えてください。

【持ち物】前曲の楽譜、第九の楽譜(日本語のものも)、アンコール(歓喜の歌・ふるさと)の楽譜
(お持ちの方)、筆記用具、録音機器(必要な場合)、水分補給用の飲み物

<注意>①練習時にアラーム音・着信音で練習が中断する事態が度々生じています。

携帯電話等は電源を切るか、機内モード、マナーモードにするなどしてください。

<注意>②練習に遅れて参加する場合は、練習の妨げにならないよう気を付けて会場に入ってください